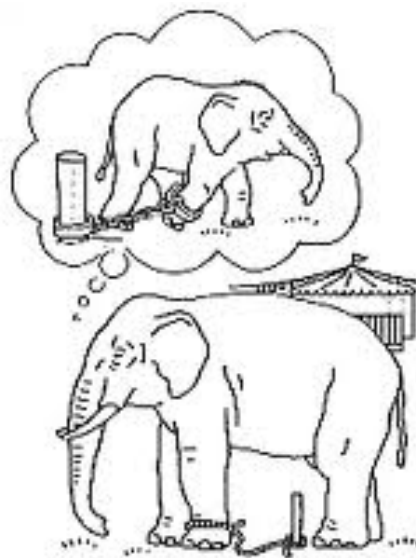


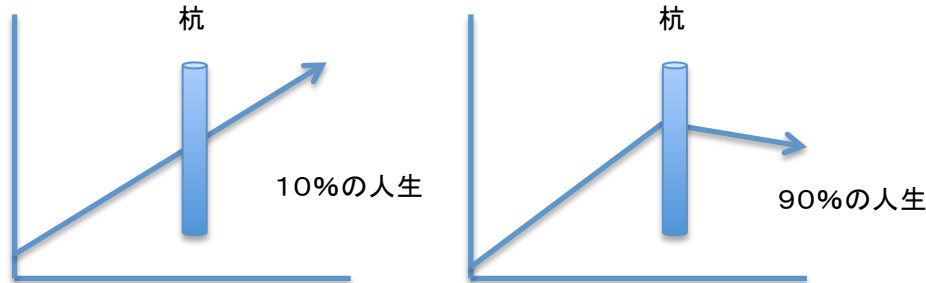
## 第 4 回： グランドホテル

### 1. 一流へのステップ

- ・ 前回の「課題」： 問いを変えてみる
  - 問いとは、自分の体に見えないゴムヒモで繋がれた「粘土」のようなもの？ ▶ 問いを発した瞬間、自分の人生の前に粘土を投げている ▶ 答えに引き寄せられる過程で、その答えを理解するための必要な経験を与えられることになる
  - 答えを見つけようとするよりも、「問い」を変えよう
  
- ・ 「一流」の三要素？
  - ①質： 一流とは、常に質の議論である
  - ②非効率： 一流とは、効率の対極にある
    - ◇ 現代社会で目にするものは、その殆どが効率を前提に作られている ▶ 明治時代の建築物(愛知県犬山市の「明治村」に訪れる価値)
    - ◇ 効率とは、モノの概念である ▶ 人に関して、効率を追求することは、しばしば逆効果 ▶ サービス業は、人を「効率化」しようとすることで、非効率になっていないか？
  - ③全体最適： 部分最適に合計は、全体を最適化しない
    - ◇ どれだけ「良い」モノを積み上げても、一つの傷で無価値になる ▶ 99点は0点と同じ
  
- ・ 世界観を広げる、制約を取り払う
  - サーカスの子象
    - ◇ 子象が杭に鎖でつながれると、始めは命を懸けて逃げようともがくが、そのうち自由になることが不可能だと諦める ▶ 一度逃げることを諦めた象は、その後どんなに大きな体に育っても、自分の力を発揮する意思を失う
    - ◇ 殆どの人(大人象)は、そこに(自分が選択可能な)選択肢が存在するという可能性すら考えもしない



- 制約とは、「子象にとって」の制約に過ぎない ▶ 子象にとっての制約を一生の制約として生きるか？制約を乗り越えて大人象に成長を遂げるか？
  - ◇ 「杭」は本当の制約ではない、制約はそれを制約と認めるあなたの心の中にある
  - ◇ 誰にとっても、乗り越えられない試練(杭)は与えられない ▶ 乗り越えられないと考えた瞬間、それが現実になる
  - ◇ 自分にとっての「杭」とは何だろう？ 人のせいにする気持ち？ ▶ 自分の人生の責任を取ることで、杭を引き抜く



- 知らないこと、間違えることは、なによりもプラス
  - ◇ 知らないということは、新しいことに挑戦している、何よりの証拠
  - ◇ 間違えることは、自分の経験を超えた挑戦をした(杭を乗り越える)ことの結果
- 世界に出よう！杭を乗り越えよう！
  - ◇ 実のところ、講義を受けているよりも、バックパックで一人旅に出る方が100倍勉強になる
  - ◇ 沖尚出身者は興南の同窓会に出席してみたら？ ▶ 本土で働く、海外で働く…
  - ◇ 他学科、他学部の授業を受けよう
  - ◇ (可能であれば)バイトをやめよう ▶ 将来時給70,000円の仕事をするために学んでいるのに、その学習時間を時給700円で売り買いすることの合理性はない
- ・ (一流を)心で感じる、直感を信じる
  - 「境界を越える」ということは、自分の常識(頭)を超えるということ ▶ 心(直感)に従うことが大きな助けになる
  - ①人を引きつける要素、②心を動かす要素、についてのインスピレーションを得ること、そして、③自分が引きつけられるもの、④自分の心が動かされるもの、に向かって行動すること ▶ これが、沖縄の将来を支える要素の基礎となる
  - イノベーションは心から始まる ▶ ソニーのウォークマン、アップルの iPhone ▶ 人が求めるものではなく、自分の心が望むものを形にすることが、革新を生み出す
  - 何が一流か、あなたの心は既に知っている
    - ◇ コーヒーの注文、スタバのオーダー、レジのおつり…
    - ◇ 誰かに教えられたことではなく、自分の直感を信じる
    - ◇ 人を惹き付ける要素とは？なぜ人はそこを訪れるのだろうか？

## 2. 一流の(ひとつの)イメージ - オテル・リッツ

- ・ 19世紀後半の「グランド・ホテル」(以下、ウィキペディアなど参照) ▶ ヨーロッパの大都市に見られる迎賓館的ホテル ▶ 贅を尽くした内装、貴族的な伝統、格式に裏打ちされたサービス ▶ セザール・リッツのサボイ(ロンドン) ▶ オテル・リッツ(パリ)、リッツ・ロンドン、ホテル・リッツ・マドリッド
  - 1850年頃より「世界の工場」、「世界の銀行」と呼ばれたパックス・ブリタニカ ▶ ヨーロッパの工業化 ▶ その後の帝国主義の時代 ▶ ヨーロッパに おいては古くから社交界が発達していた。社交界でのパーティーに出席する貴族階級が集まり、夜を明かす場として、荘厳な建築物がいくつも建設された。やがてそれらの建物は「グランドホテル」として、各国の王室をはじめ、貴族階級が宿泊するための施設となっていった。また、アメリカ合衆国にもこうしたヨーロッパ式のグランドホテルが持ちこまれた。そのいくつかは現在でも残っており、たいていは国の最高級ホテルとして国賓も宿泊する施設になっている。
  - オテル・リッツ( Hôtel Ritz )は、パリの中心部にある壮麗な宮殿ホテル。ヴァンドーム広場に位置し、八角形の広場を見渡す。世界で最も豪華で評判の良いホテルの1つ。現在 159 室。
- ・ エスコフィエ
  - オテル・リッツは 1898 年、スイスのホテル経営者セザール・リッツと料理人のオーギュスト・エスコフィエの協力のもと設立された。
    - ◇ エスコフィエは、レストラン経営と料理考案・レシピ集の著述を通じて、伝統的なフランス料理の大衆化・革新に貢献した事で知られる。現在にいたるフランス料理発展の重要なリーダーとして、シェフと食通の間で偶像視されている。
    - ◇ エスコフィエの改革は料理そのものに止まらず、シェフという職に、残忍さや酪酊に代わり、規律と節制という気風を持ち込み、シェフ職の社会的地位の向上に貢献したことが功績の1つに数えられている。また、厨房各々のセクションにシェフ・ド・パルティ(chef de partie、部門シェフ)を置くシステム「ブリゲード・ド・キュイジーヌ」を発案、自身の厨房を再編した。
    - ◇ 一度にすべての料理を供するサービスが主流だったフランス料理に、コースメニューを導入した事でも知られている。
    - ◇ 1903 年、エスコフィエは初の主著「料理の手引き」(Le Guide Culinaire)を出版した。「料理の手引き」には 5,000 ものレシピが掲載されており、フランス料理の世界では、この本の重要性は、どれほど評価 してもしたりないものと一般に考えられている。今日なお「料理の手引き」は、古典料理のレシピ集・教科書として用いられている。
    - ◇ サヴォイ・ホテルの料理長に就任したエスコフィエは、現在でも著名な料理をいくつも考案している。例えば、オーストラリアの歌手ネリー・メルバを記念して 1893 年に作られた「ピーチ・メルバ」というデザートや、食通として知られたイタリアの作曲家ジョアキーノ・ロッシーニを記念して名づけられた「牛ヒレ肉のロッシーニ風」(トルヌード・ロッシーニもしくはトルネード・ロッシーニ)などが挙げられる。
- ・ リッツのイノベーション
  - セザールは当時超一流と言われたインテリア・デザイナーを雇い、家具からグラス一つに至るまで全てカスタム・メイドにした。
  - 居室に隣接した浴室や電話、電気を各部屋に設置提供したのは、オテル・リッツがヨーロッパで初めてだったという。その贅沢さがまたたくまに評判になり、王侯、政治家、作家、映画スター、歌手等を顧客に迎えることになった。「レスパドン」は世界的に有名なレストランであり、隣接する「リッツ・エスコフィエ料理学校」で学ぶ野心的なシェフを世界中から引きつけている。ホテルの最も豪華なスイート「スイート・アンペリアル」は、それ自体がフランス政府により歴史的建造物の指定を受けた。

・ 客室

- リッツはパリで最も高価なホテルだといわれていて、600 名以上の従業員を抱え、2011 年 8 月現在、1 泊の室料は最低 850 ユーロ(10万円)である。スイートは最低 3,600 ユーロ(40万円)から、最も高価なスイート・アンペリアルは 1 泊 13,900 ユーロ(150万円)を要する。これらの特別スイートは全部で 11 室あり、「プレステージ・スイート」として知られている。
- スイート・アンペリアルは、ホテルの最上級スイートであり、その客間はフランスの歴史的建造物 (Monuments Histriques) の指定を受けている。スイート・アンペリアルは 2 階にあり、2 つの寝室、壮大な居室、食堂とからなる。スイートの高さは 6 メートル、大きなシャンデリア、ヴァンドーム広場を見下ろす窓、その窓の間にバロック調の巨大な金縁の鏡、赤と金のファブリック、ヴェルサイユ宮殿にあるマリー・アントワネットの寝室のものと同じ 4 本支柱のベッドなどの特徴がある。もう 1 つの寝室はルイ 16 世様式で、天蓋ベッドとコラムを擁する。スイートは惜しげもなくフランス絵画、パス・レリーフ(彫刻)で装飾され、18 世紀の羽目板はその歴史的建造物として保護されている。
- 浴室はかつての女性用私室で、ヴァンドームの庭に面している。18 世紀の羽目板とともに、ジャグジー、スチーム・バス・シャワー、プラズマテレビ、化粧品用冷蔵庫を備えており、フランスの古き伝統と 21 世紀の現代性とを兼ね備えている。DVD プレーヤーや高速インターネット、ファクスといった設備とともに、居室の近くには簡易キッチンが設置され、小さな個人用ワインセラーの中は、さまざまなフランスワインで一杯になっている。
- 数年に渡り、イラン王からアメリカ大統領まで、世界の主要賓客の幾人もが、このスイートに宿泊してきた。第二次世界大戦中にはヘルマン・ゲーリングの滞在地となり、ダイアナ元皇太子妃とドディ・アルファイドが最後の食事をとった場所にもなった。2007 年のワールド・トラベル・アワードは、スイート・アンペリアルを「ヨーロッパの主要スイート」に選出している。
- ヴァンドーム・スイートはリッツにおいても特別なスイートルームであり、赤と象牙色を基調とし、ルイ 14 世様式の家具でしつらえられ、広場を見渡す大きな窓を備えている。
- セザール・リッツ・スイートは広場に面しており、ルイ 15 世様式の家具でしつらえられ、リッツ本人の肖像画が掲げられている。室内は落ち着いたグリーンと明るい黄色に彩られ、1 室には天蓋ベッドが、もう 1 室には花模様の絹のリネンのベッドが置かれている。スイートの居室のドアは、金箔で縁どられている。
- エルトン・ジョン・スイートは、濃いピンクとクリーム色を基調に、2 つのベッドルームを備え、ピンク色の厚いカーペットが敷かれ、窓が屋根裏部屋風になっている。エルトン・ジョンは 42 歳の誕生日に、階全体を借り切ったという。
- ウィンザー・スイートは、タペストリー、金色のモールディング、ウィンザー公爵夫妻の肖像画で飾られている。家具はルイ 16 世様式、アーモンド・グリーン、サーモン・ピンク、パール・グレイといった色で装飾されている。主寝室の色合いはウォリス夫人好みのパール・グレイを基調としており、リッツではこの色を「ウォリス・ブルー」と呼んでいる。
- 1670 平方フィート(155 平方メートル)の広さを持つココ・シャネル・スイートでは、[ココ・シャネル](#)が 35 年間生活していた。2 つの寝室と 1 つの居室からなり、コロマンデル・ラッカー、中国風家具、バロック調の鏡、「グラン・マドモワゼル」自身が創作したキルティングの特大ソファを特徴とする。このスイートは、「ファクス、ジャグジー、スチーム・バス・シャワー、最新式ウォーク・イン・クローゼットといった最も高度なテクノロジーが導入されている」という。

・ リッツの舞台

- 上流階級とその贅の象徴としてのステイタスから、オテル・リッツは小説など多くの著名な創作作品の中で重要な役割を果たした。F・スコット・フィッツジェラルドの『夜はやさし』や、ヘミングウェイの『日はまた昇る』、ノエル・カワードの戯曲『セミ・モンド』は、ホテルについて述べた作品としてはおそらく最も詳細なものであり、1924年から1926年にかけてのパリのエリートの、贅沢で行き当たりばったりな冒険を語っている。ブレット・イーストン・エリスの小説『Glamorama』では、スーパーモデルの団がテロリスト化し、手製の爆弾をリッツに仕掛けて破壊する。
- 『ダ・ヴィンチ・コード』では主人公のロバート・ラングドンがパリ滞在中オテル・リッツに宿泊し、ローレン・ワイズバーガーの『プラダを着た悪魔』も、アンドレア・サックスとミランダ・プリーストリーの滞在先がオテル・リッツである。イアン・フレミングのジェームズ・ボンド・シリーズ『007 ロシアより愛をこめて』では、最終章の舞台がオテル・リッツになっている。敵役ローザ・クレブが602号室に滞在、ボンドと交戦して死ぬ。ビリー・ワイルダー監督の1957年のコメディ『昼下がりの情事』では、オードリー・ヘプバーンとゲーリー・クーパーの恋がリッツのスイートで始まる。1966年の映画『おしゃれ泥棒』では、ヘプバーンとピーター・オートウールのロマンチックなシーンがホテルの前で撮られている。
- 何年もの間、多くの有名人たちがリッツを訪れることになった。アーネスト・ヘミングウェイはバーにその名を残し、他にも F・スコット・フィッツジェラルド(『グレート・ギャツビー』)、マルセル・ブルースト(『失われた時を求めて』)、エドワード7世(イギリス王)、レザー・パフラヴィー(パフラヴィー朝創始者イラン皇帝)、ルドルフ・ヴァレンチノ(サイレント映画時代にハリウッドで活躍したイタリア系の俳優：劇場に出かける女性のほとんどが「彼がスクリーンから見つめる」という理由で綺麗に化粧をしていったという)、チャールズ・チャップリン、グレタ・ガルボ(初期ハリウッドの伝説的スター、スウェーデン生まれ)、マレーネ・ディートリヒ(ドイツ出身の女優)、オーソン・ウェルズ(ハリウッドを代表する監督、脚本家、俳優『市民ケーン』)、モーリス・シュヴァリエ(不亂種出身の俳優)、ジャン＝ポール・サルトル(フランスの哲学者、小説家、劇作家)、エルトン・ジョン(1997キャンドル・イン・ザ・ウィンドは3,700万枚のシングルセールス世界記録)などが挙げられる。ホテルのスイーツの多くには、彼ら著名な顧客の名前が付けられている。ヘミングウェイは「パリに居ながらリッツに滞在しないのは、その余裕がない時だけだ」という有名な言葉を残している。
- クチュリエのココ・シャネル(1883-1971)は、リッツを30年以上も自宅代わりにしていた。(以下はココ・シャネル語録) ▶ 『ココ・シャネル』(シャーリー・マクレーン主演)、『ココ・アヴァン・シャネル』(オドレイ・トト主演)
  - ◇ 翼を持たずに生まれてきたのなら、翼をはやすためにどんな障害も乗り越えなさい。
  - ◇ 私の来ているものを見て、みんな笑ったわ。でもそれが私の成功のカギ。私はみんなと同じ格好をしなかったの。
  - ◇ 私は好きなことしかしない。私は自分の人生を自分が好きなことだけで切り開いてきたの。
  - ◇ 贅沢とは、居心地が良くなることです。そうでなければ、贅沢ではありません。
  - ◇ 下品こそ、この世でもっとも醜い言葉。私はそれと戦う仕事をしています。
  - ◇ かけがえのない人間になりたいのなら、人と同じことをしてちゃだめよ。
  - ◇ 私は日曜日が嫌い。だって、誰も働かないんだもの。
  - ◇ 30歳の顔は、自然の贈り物。50歳の顔は、あなたの功績。
  - ◇ 実際にどう生きたかは、たいした問題ではないのです。大切なのは、どんな人生を夢見たか、ということだけなの。
  - ◇ お金は、儲けるために、夢中になるべきものではなく、使うためにこそ、夢中になるべき。
  - ◇ 口紅は、落ちる過程にこそ、ドラマがある。
- 1904年と1908年に、リッツの庭のカフェを、スイスの画家ピエール＝ジョルジュ・ジャンワ Pierre-Georges Jeannot が描いている。ブルーストは『失われた時を求めて』執筆時の1909年

ごろ、オテル・リッツに滞在している。

- ルーマニア王妃マリアは 1919 年のパリ講和会議の際、オテル・リッツに滞在した。他にも多くの著名な王室関係者や政治家が、何年もの間リッツで寝食をとった。
- 1940 年夏、ヘルマン・ゲーリング率いるナチドイツ空軍が第二次世界大戦中、オテル・リッツに本部を置いた。

#### ・ 近年のリッツ

- 1979 年、リッツ一族はホテルを、エジプトの実業家モハメド・アルファイドに 20,000,000 ポンドで売却した。アルファイドはホテルを営業しながら、数年かけて全て改装を済ませた。このときに 2 棟のタウンハウスを増築し、パリの主要メゾンを擁するアーケードと直結した。1980 年から 1987 年にかけてホテル改築の指揮をとったのは、建築家のベルナール・ゴージュレルであった。
- 1988 年には、オーギュスト・エスコフィエを記念して、料理学校エコール・リッツ・エスコフィエが設立された。世界的な高い評価に惹かれた野心的なシェフたちが世界中からやってきて、オテル・リッツのメインキッチン正面向かい側で訓練を受けている。学校の花は、「美味しい料理は真実の幸せの基盤」というエスコフィエの言葉に基づいている。学校はホテル裏の入り口につながっていて、プチフル、果物や野菜のカービング、トリュフ、食べ物とワインの取り合わせ、といったテーマに従い 4 時間のワークショップに取り組む。2009 年現在、経費は 4 時間コースで 135 ユーロ、2 日間の入門講座には 920 ユーロを要する。
- 2011 年 10 月 18 日、突然リッツ・パリ休業のニュースが世界に発信され関係者を驚かせた。翌 12 年夏より 2 年 3 か月という異例の完全休業で、“前例のない改装”が理由だ。

### 3. 日本のグランド・ホテル - 帝国ホテル・ライト館

- ・ 帝国ホテル・ライト館：1912 年(明治 45 年)、当時の総支配人だった林愛作は旧知のアメリカ人建築家、フランク・ロイド・ライトに新館の設計を依頼した。ライトは来日して、使用する石材から調度品に使う木材の選定に至るまで、徹底した管理体制でこれに臨んだ。
  - 鷲が翼を広げたような巨大なホテルは、実は小部分がいくつも繋ぎ合わされた連結構造になっており、これで建物全体に柔軟性を持たせるとともに、一部に倒壊があっても全体には累を及ぼさない仕組みになっていた。また大規模ホテルとしては世界で初めて全館にスチーム暖房を採用するなど、耐震防火に配慮した画期的な設計だった。
  - しかしこうした完璧主義は大幅な予算オーバーを引き起こした。ライトはそれでも林との個人的な友情でかろうじて施工の総指揮を続けていたが、1919 年(大正 8 年)に隣接する初代帝国ホテルが失火から全焼すると、新館の早期完成は経営上の急務となり、設計の変更を繰り返すライトと経営陣との衝突は避けられなくなった。さらに当初予算 150 万円が 6 倍の 900 万円に膨れ上がるに至って、林は総支配人を引責辞任、ライトも精魂注いだこのホテルの完成を見ることなく離日を余儀なくされる。
  - ホテルの建設はライトの日本における一番弟子だった遠藤新の指揮のもとその後も続けられた。1 年後の 1923 年(大正 12 年)、設計から 11 年の歳月を経てライトの本館は完成、9 月 1 日に落成記念披露宴が開かれることになった。関東大震災が東京を襲ったのは、まさに宴の準備に大忙しの時だった。周辺の多くの建物が倒壊したり火災に見舞われる中で、小規模な損傷はあったもののほとんど無傷で変わらぬ勇姿を見せていたライトの帝国ホテルはひととき人々の目を引いた。ライトは二週間後このことを遠藤からの手紙で知り狂喜したという。
  - 1945 年(昭和 20 年)3 月 10 - 11 日の東京大空襲では、本館中央部から南翼、孔雀の間、演芸場などに多くの焼夷弾が落ち、焼失は総床面積の四割強に及ぶ大きな被害を受けた。終戦ともに帝国ホテルは GHQ に接收され、そこで大規模な修復工事が行われ、ホテルは旧来の姿を取り戻している。
  - 1954 年(昭和 29 年)にはライトの本館の裏手に客室数 170 の第一新館が完成、1958 年(昭和 33 年)にはその横に地上 10 階、地下 5 階、客室数 450 の第二新館が完成した。これをうけて、1964 年(昭和 39 年)にはライトの本館を取り壊し、その跡地に新たに鉄筋コンクリート建て、地上 17 階、地下 3 階、客室数 772 の新本館を建設することが発表された。
  - 震災にも空襲にも耐えたこのホテルの存続を訴える大規模な反対運動が起ったが、本館は地盤沈下などの影響で柱が傾き雨漏りがするといった老朽化の問題もさることながら、都心の一等地を占有する巨大な建造物の客室数がたったの 270 では話にならなかった。
  - ライトの新館は 1967 年(昭和 42 年)に閉鎖され、翌年春頃までに取り壊された。跡地に建設された近代的な外観の新本館は、1970 年(昭和 45 年)の日本万国博覧会開会に合わせて竣工。
  - 2005 年(平成 17 年)4 月、新本館 14 階の「インペリアルフロア」に新設された「フランク・ロイド・ライト・スイート」は、ライト館のさまざまな箇所に施された独特なマヤ調の意匠やライト独自のスタイルでまとめられた内装や調度品を忠実に再現したものとなっている。
- ・ 現在のライト館
  - 博物館明治村(愛知県犬山市 100 万平米)：1965 年(昭和 40 年)名古屋鉄道が用地の寄付をはじめ財政面で全面的に援助(基金拠出)し、博物館明治村は犬山市の入鹿池のほとりにオープンした。2007 年現在では 67 件(蒸気機関車等も含む)に達している。博物館の敷地も 2 倍近くの 100 万平方メートルに広がっている。重要文化財の建物が 10 棟含まれ、それ以外のほとんどの建物も登録有形文化財になっている。
    - ◇ 帝国ホテル中央玄関 フランク・ロイド・ライトの代表的作品(関東大震災と同年の 1923 年竣工)として知られ、同ホテルの建て替え構想が発表されると、日・米両国で保存を求める声が高まっていた。記者会見でコメントを求められた佐藤栄作首相により、明治村に再建

する案が提示された。1967年にホテルは取壊され、10数年の歳月をかけて、1985年に再建された。玄関部分だけとはいえ、明治村最大の建物である。「明治村帝国ホテル中央玄関」として、2004年2月17日に登録有形文化財登録(東京都千代田区内幸町1丁目にあったホテルの再現)。

- ・ 参考：明治村に存在する、その他の重要文化財
  - 西郷従道邸 フランス人建築家レスカスによるものとされる、西郷従道の邸宅の接客用の洋館。明治10年代に建設。木造二階建て銅板葺。1964年(昭和39年)に西郷山から移築。内部で展示されている調度品の多くは鹿鳴館や赤坂離宮で使用されたもの。二階のベランダは雨水を流すため若干の傾斜をつけるなどの細やかな工夫が随所に見られる。明治村移築前は国鉄スワローズの選手宿舎として使われ畳を敷いていたという。「旧西郷従道住宅」として、1965年(昭和40年)5月29日に重要文化財指定。
  - 聖ヨハネ教会堂 宣教師でもあるアメリカ人建築家ガーディナーの建築。1907年(明治40年)に建てられた。木造煉瓦造二階建て銅板葺。1964年(昭和39年)に移築。細部はゴシック風である。「旧日本聖公会京都聖約翰教会堂」として、1965年(昭和40年)5月29日に重要文化財指定。
  - 品川灯台 フランス人技師レオンス・ヴェルニーらの設計。明治3年点灯。避雷針先端までの高さは約9mである。現存する洋式灯台では日本最古である。1964年(昭和39年)移築。「旧品川燈台」として、1968年(昭和43年)4月25日に重要文化財指定。
  - 菅島灯台付属官舎 イギリス人技師リチャード・ヘンリー・ブラントンの設計。明治6年建設。灯台守の宿舎として使われた。煉瓦造平屋建て。三重県鳥羽市の菅島より1964年(昭和39年)移築。「旧菅島燈台付属官舎」として主屋と倉庫がそれぞれ、1968年(昭和43年)4月25日に重要文化財指定。
  - 札幌電話交換局 防火の観点から札幌軟石を用いた石造で建てられた。一階はアーチ窓、二階は楕窓を採用している。二階窓下には花紋が連続している。1898年(明治31年)建設。1965年(昭和40年)移築。「旧札幌電話交換局舎」として、1968年(昭和43年)4月25日に重要文化財指定。
  - 呉服座(くれはざ) 1892年(明治25年)に大阪府池田市に建設された。木造二階建杉皮葺き。歌舞伎や芝居の他、演説会場としても使われ、尾崎行雄、幸徳秋水も演説を行っている。「旧呉服座」として、1984年(昭和59年)12月28日に重要文化財指定。1993年6月1日~6日まで、地元テレビ局のテレビ愛知の開局10周年記念事業として坂東玉三郎主演の特別公演を行ったことがある。テレビ愛知が坂東に出演依頼を行った際、『呉服座の舞台でなら踊ってもよい』という一言から、明治村を運営する名古屋鉄道の協力もあり行われ、合計3,371人が訪れた。
  - 三重県庁舎 1879年(明治12年)の建築。設計は清水義八。「旧三重県庁舎」として、1968年(昭和43年)4月25日に重要文化財指定。
  - 東山梨郡役所 東山梨郡役所として1885年(明治18年)に現山梨市に建設された。山梨県初代官選知事藤村紫朗の推進した「藤村式建築」と呼ばれる擬洋風建築のひとつ。木造二階建。正面にベランダを配した左右対称形は当時の官庁建築としては典型的である。「旧山梨県東山梨郡役所」として、1966年(昭和41年)6月11日に重要文化財指定。
  - 宇治山田郵便局 1909年(明治42年)建設。木造平屋建銅板葺。設計は当時の逓信省の技師白石円治である。三重県伊勢市の伊勢神宮外宮前に所在した郵便局舎で、外観はハーフトンパーを基調としている。明治時代の木造郵便局舎としては現存する唯一のものである。「博物館明治村簡易郵便局」として営業中。「旧伊勢郵便局舎(宇治山田郵便局舎)」として、1999年5月13日に重要文化財指定。
  - 東松(とうまつ)家住宅 1901年(明治34年)の建築。「旧東松家住宅」として、1974年2月5日に重要文化財指定(愛知県名古屋市中村区舟入町からの移設)。木造建築では珍しい三階建て。